

## 教室に生徒の声戻る

4/27

県内に先がけてオンラインによる遠隔授業実施



●本川根中学校の遠隔授業の様子

新型コロナウイルスの影響により、臨時休業が続く町内の中学校では、生徒1人に1台貸し出しているタブレット端末を用いて、オンライン授業を始めました。

始業式以来、登校することができない生徒たちと学校の教室が、テレビ画面で繋がりました。

本川根中学校で国語を担当する滝井玲緒教諭は「画面越しのやりとりに課題はあるが、生徒の反応を見ながら授業をすることができて良かった」と話しました。

4/30

## 子どもの健康を願い、エール届く

「コロナに負けない。じょうぶな子」貼り絵が園児たちを見守っています

グループホームまつおかの利用者から三ツ星保育園の子どもたちの健康を願い、「コロナに負けない。じょうぶな子」というメッセージ入りの貼り絵が寄贈されました。

貼り絵に描かれたのは、子どもたちが大好きなキャラクター。毎日元気いっぱいに通園する園児たちを出迎えています。

同保育園の中田泰子園長は「貼り絵を見て子どもたちはもちろん、職員たちも元気をもらっています」と笑顔で話しました。



●感染症予防対策を徹底していきます

## 隊員同士の意思疎通を徹底

4/28

5/4

有事に備えるための島田消防署北・南出張所合同訓練実施



●放水訓練に臨む消防隊員

4月28日と5月4日に、町営グラウンド駐車場(下泉区)で、島田消防署川根北出張所と南出張所の合同訓練が実施されました。

人員配置などで新体制となった隊員たちの連携力向上を目的として、安全性と確実性を主眼に置き、有事に備え放水訓練や無線運用訓練を行いました。

訓練を指揮した長井利規警備担当課長は「隊員同士の意思疎通を徹底し、課題を洗い出して今後の消防活動に活かしたい」と話しました。

# 「お店を助けたい！」支援の輪広がる



「『美味しい』はコロナに負けない」

宅配サービスやお持ち帰りメニューを準備して、皆さんからのお問い合わせを心待ちにしています。



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、飲食店をはじめとする町内の事業者の多くは、お客さんの安全を考えて、臨時休業の対応をしました。外出自粛も重なり、お店の売り上げは激減。そんな中でも、通り慣れたお店を救いたいと考えている人がたくさんいます。

町が一丸となった取り組みは、困難な状況を乗り越えるための支援の輪として広がっていきました。



配布されたチラシ

**人の繋がりは簡単に切れない**  
 売り上げに大打撃を受けたお店を救おうと、4月20日に町内の女性有志の方数名が、宅配サービスや持ち帰りができる飲食店の情報をまとめた、「#川根エール飯」というチラシを作りました。  
 チラシ作成に携わった神東美希さん(崎平区)は、「高齢者の方が多く町なので、チラシの方が情報が行き届く」と話し、町内の事業所や公共施設に配布しました。  
 ある店主は、「SNS(インターネット)を介したウェブサービス)で配信するだけでは、お客さんに利用してもらえなかったが、チラシが配布されてから、来てくれる人が本当に増えた」と話しました。お店にとって「情報発信の難しさ」という課題は、住民の方たちの取り組みによって解決し、支援の輪として広がっていきました。



美味しそうなメニューに笑みがこぼれる川根高校教諭

コロナウイルスが、町とお店の繋がりを切り離したかに見えましたが、日頃から築いてきた繋がりは決して切れていなかったことを「#川根エール飯」の取り組みで、実感しました。  
 また、「買って応援! 食べて応援! 事業者応援プロジェクト」というサイトを開設し、事業者を応援しています。新型コロナウイルスの影響は終息に向かいつつありますが、この先も引き続き温かいご支援をお願いします。